

私が拾った物

チャンド オムカンワル
CHAND OMKANWAR

私はなぜ日本やヨーロッパやアメリカがきれいで、なぜそんなに発展したんだろうと考えていました。どういうやりかたで何を持っているのか。この話はインドで友達とも何回も話し合いました。いつかどこか外国へ行ってみたい夢を持っていました。突然、機会があったので嬉しくてたまりませんでした。夢を持っていると不思議な力も助けてくれるんだなあと思いました。

日本へ来てまず3ヶ月、学校で日本語と日本の習慣を学びました。その後、私の夢の世界であった研修先の会社で今まで心に置いていた疑問の答えが分かるだろうと興奮しました。

会社で皆が仕事をしているのを見ると全員がエンジニアか専門家と思いました。でも聞いたらびっくりする返事が返って来ました。私たちはプロではないし、普通の学校を卒業して、会社に入り、何回も失敗して練習をして仕事ができるようになりましてと言っていました。

日本へ来る前、私の目標は技術だけ習うことでした。でも日本の社会のしくみが分かるように目を開けるといろんなことを学びました。自分の犬のふんを拾ったり、店で何も買わなかつ

た時も店員が「ありがとうございます」と言うのを聞くとすばらしいと思いました。

ある日、ごみを出しに行くとき私の前をお母さんと5才ぐらいの子供が歩いていました。子供はビニール袋を持っていて、「ママまた吸い殻を見つけたよ」と興奮して言いました。お母さんは「それも拾って」と返事しました。子供は吸い殻を喜んで拾いました。道で子供は何回もお母さんに聞きながら吸い殻を拾いました。家に帰ってから、あれは子供のための遊びではなくお母さんが子供がよい人間なるように教えたことだろうと思いました。

私はなぜ日本がこんなにきれいなのかという大きな一つの理由を子供に教えてもらいました。これは日本で私のすばらしい思い出になりました。どんなに小さくて目につかないことも大きな成功に結び付くと理解しました。私は基本的なことが技術よりも大きな意味を持っていると思いました。私は日本に来ることができて、とてもラッキーでした。そうでなければ日本のすばらしい文化を垣間見ることはなかったでしょう。